

八王子地本申9号

団体交渉

2023年6月14日(水)12:30~

発行責任者 佐藤英樹

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年6月7日 No.157

八王子支社豊田運輸区で発生!!

人間を壊す人事異動



人間破壊の人事異動が行われるまでの経過

● 駅での就業が心身状態の悪化と判断

- ① 組合員Aさんは、駅での人間関係で心身状態に異常が発生し、駅での就業が困難となる
- ② 保健師や産業医に相談

【当時の保健師・産業医の話】

- 心身状態の悪化は駅という環境・働き方が原因
- 解決のためには環境・働き方を変えなくては



車掌職場へ異動

* 駅管理者は「環境が変わると元気になるよ」と応援

● 就業環境の変化で心身状態が良好へ

- ③ 運輸区へ異動し、心身状態は良好へ
- ④ 交番順序を助案しながら持病の治療に専念
- ⑤ 「駅での心身不調」「持病」を産業医に相談
- ⑥ 自己申告書に記載し、面談でも報告

● 持病に向き合いながら、充実感と向上心を持って車掌業務にあたり、キャリアプランは車掌の「技術指導担当」と「車掌指導」と設定

注意

5/13 退区時間に区長・副区長が待ち構え、突如、駅への異動の話がされる



管理者 サラリーマンなんだから、人事なんだから、それが無理なら自営業をやるしかない。

組合員 A 人生が壊されてしまう。駅に出勤できるとは思えない。出勤できない

* 組合員Aさんは駅での心身状態の異常がフラッシュバックし、「生きていける自信がない」と精神的に追い込まれ、出勤ができない状況となり、6月2日まで会社を休む。

6月3日 久々の乗務となり指導添乗が付く。乗務途中に指令から連絡があり、区に戻るように指示。区に戻ると区長・副区長より事前通知(6/15 発令)が手交される。



突然の事で持病の混乱症状が発症。その症状を見た管理者は…副区長「また演技みたいにして！おかしいふりをするのはやめよう。都合いいな」と発言。組合員Aさんは、駅では働けないと必死で訴えるも、区長「私は異動の指示を受けて紙を渡すのが仕事」「病気のこと、不服申し立てればいい」「何があっても事前通知を渡す」と述べた。混乱症状が出る組合員に対し管理者は…区長「なんだ！その態度は！」副区長「都合がいいな！」と恫喝！その後、当該組合員は出勤ができない状況に追い込まれ、病気休職となってしまった…

人間を破壊する異常な人事異動を許すな

● 異常な人事異動を許さず、当該組合員を支え、八王子地本と連帯するため「激」を取り組もう！

人間破壊の人事異動を許さず、八王子地本の仲間と共にたたかおう！